

| その他注目トピックス情報

● ギリシャ、債務免除が必要な状態（IMF）

国際通貨基金（IMF）は、7月2日公表した報告書において、財政危機に陥っているギリシャは「債務免除が必要な状態」にあることを指摘した。また、欧州連合（EU）の改革案を受け入れたとしても、今後3年でユーロ圏から360億ユーロ（約4兆9000億円）の支援を受ける必要があり、他の貸し手も含めると全体で500億ユーロになるとしている。

[Greece: Preliminary Draft Debt Sustainability Analysis : IMF](#)

● 島根県、UI ターン急増（島根県）

島根県は6月17日、2014年度に同県にUターンした人の数が390人と、前年度の3倍近くに増えたと発表した。Iターンした人は年間483人で、定住を意図した転入者の総数は873人と52%増えた。県は空き家紹介や農業体験など支援策の効果に加え、島根が暮らしやすいとの評価が広がったのも一因とみている。UIターン者を「市町村などの支援を受けて県外から転入し、かつ定住する意志のある者」と定義して集計した。職業紹介や産業体験、空き家バンクなど定住支援策を利用した人数を市町村からヒアリングしており、10年から集計している。

同県は4月に市町村に対する定住支援の助成制度を拡充し、各地域で定住支援の人員拡充や職業紹介など情報発信強化に着手している。

[UI ターン者数の平成 26 年度実績 : 島根県](#)

● 今春の大手企業の賃上げ 17年ぶり 8,000円台（経団連）

経団連が6月19日に公表した今春の労使交渉の最終集計によると、大手企業のベースアップと定期昇給をあわせた賃上げ率は2.52%となった。昨年の実績（2.28%）を上回り、2年連続で2%台を確保した。妥結額は8,235円で、17年ぶりに8千円台に乗せた。16業種のうち13業種で伸び率が前年を上回り、11の業種で2%を超えた。

伸び率も1998年以来17年ぶりの高水準で、うちベア相当部分は0.6%程度とみられる。

製造業平均の賃上げ率は2.53%。機械金属は同2.95%、自動車で2.90%、繊維は2.56%と軒並み高水準だった。人手不足を背景に、非製造業平均でも賃上げ率は2.49%だった。

[年春季労使交渉・大手企業業種別妥結結果:経団連](#)

● 5月の貿易赤字2,160億円、輸出2.4%増、輸入8.7%減（財務省）

財務省が6月17日に発表した5月の貿易統計速報（通関ベース）によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は2160億円の赤字（前年同月は9172億円の赤字）だった。貿易赤字は2カ月連続。

輸出額は前年同月比2.4%増の5兆7405億円、輸入額は8.7%減の5兆9564億円だった。

[財務省貿易統計:財務省](#)

● 1～3月の需給ギャップ、マイナス幅縮小（内閣府）

内閣府は15日、1～3月期の国内総生産（GDP）改定値を反映させた需給ギャップがマイナス1.6%になったと発表した。速報値で算出したマイナス1.9%に比べてマイナス幅が0.3ポイント縮小した。金額に換算すると、名目で約8兆円の需要不足で、速報段階の10兆円から縮小した。

[今週の指標:内閣府](#)

● 合計特殊出生率1.42、9年ぶり低下（厚生労働省）

厚生労働省が6月5日に発表した2014年の人口動態統計によると、1人の女性が生涯に何人の子どもを生むのかを推計した合計特殊出生率は1.42となり、前年から0.01ポイント下がった。低下は9年ぶり。最も高いのは沖縄県の1.86で、最も低いのは東京都の1.15。

2014年は30歳代や「団塊ジュニア」世代にあたる40歳代前半の出生率は上がったものの、20歳代が低下し、全体を押し下げた。晩婚化、晩産化の流れが一段と進んだことが背景にある。平均初婚年齢は男性が31.1歳、女性が29.4歳。女性が第1子を生む年齢は平均30.6歳で過去最高になった。

出生数は26,284人減の1,003,532人と4年連続で過去最少を更新し、100万人の大台割れが目前に迫った。低水準の出生率に加え、人口減で結婚する人が減ったことが響いている。15～49歳の女性人口は25,667,165人で1.0%減少。婚姻件数は643,740組で2.6%減り、戦後で最も少なかった。

[平成26年人口動態統計月報年計（概数）の概況：厚生労働省](#)